

危険物施設における ヒヤリハット

より高い安全をめざして

作品の紹介

危険物施設では、火災や流出事故等には至らなかったものの、「ヒヤリ」としたり「ハット」した体験は、日常業務でよくあると思います。こうした「ヒヤリハット」の本験は、そのままにしないで保安確保に役立てるようにすることが大切です。この作品は、危険物の製造所、貯蔵所あるいは取扱所で発生した事故を基に、危険物施設の「ヒヤリハット」について広くとりあげています。また、体験した「ヒヤリハット」の情報の共有化を図ったり、「ヒヤリハット」事例の教訓を基に安全対策などを具体的に作成し、保安確保の向上に役立てている危険物施設の取り組みなどを紹介しながら、「ヒヤリハット」を取り入れることや保安対策への活かし方などについて解説し、危険物施設におけるより高い保安確保の進め方について紹介しております。

CHAPTER 1	プロローグ	1分50秒
CHAPTER 2	危険物施設における事故の概要 ～ヒヤリハットとは?～	3分13秒
CHAPTER 3	静電気のヒヤリハット事例	6分29秒
CHAPTER 4	ヒヤリハットの集め方	6分51秒
CHAPTER 5	ヒヤリハット会議	5分52秒
CHAPTER 6	新人教育とヒヤリハット	3分18秒
CHAPTER 7	代表的な危険物の性状	2分7秒
CHAPTER 8	流出事故につながるヒヤリハット	5分50秒
CHAPTER 9	エピローグ	1分46秒

危険物取扱者の保安講習の種別コース	全編再生	37分16秒
■ 一般対象・石油コンビナート対象	一般・コンビナート編	23分11秒
■ 給油取扱所対象	給油取扱所編	23分33秒

企画・製作：財団法人 全国危険物安全協会

定価 9,499円(税別)

